



フクシマの子どもたちの未来を守る家

ニュース No.32 14/8/23 発行

☆今月の活動報告☆

7月26日(土) 旧朝日村上名川 山形大学農学部演習林にて川遊び

この一週間前から天気が悪かったので心配でしたが、26日は晴天！猛暑日となりました。

演習林の森の中は、涼しく川の水はとても気持ち良かったです。「守る家」利用家族(1)、鶴岡に長期避難家族(1)、鶴岡市民親子(1)、サポーター・山大関係者19名、子ども達9名の参加でした。

7月ということで、アブは居なかったのですが、大人も子どもも石をひっくり返しては、沢ガニを探しましたが、川の生き物もまだ少なく、小さなオタマジャクシを発見、あとヤマメという魚をつかまえることができました。この収穫物は、お昼ごはんの時に全員が一口ずつ試食しました。



7月28日(月)「放射能に負けないご飯」調理実習@谷定ハウス

★メニュー★

ラタトウユ
ニンニクとチンゲン菜のいため物
麦とトウモロコシ入り夏ご飯
夏野菜の団子汁
ショウガのソルベ (デザート)



お母さん達が調理実習している間子ども達はサポーターと外遊び。ヤモリをたくさん見つけたよ！「守る家」利用親子(1)、鶴岡に長期避難親子(1)、サポーター5名、子ども6名の参加でした。

8月13日「フクシマのお母さんの生の声をきくつどい」@谷定ハウス 19時~

★2人のお母さんにお話を伺いました。

- ①原発事故があった時の被災状況 ②事故後からの家族の変化や避難の経緯など
- ③家族の健康状態 ④今悩んでいること

- ・3・11当時は、三男は、まだ1歳になったばかりであった。
- ・実家に3人の子ども達をあずけ、病院勤務を続けていた。患者さんを他の病院に移したり、避難したりしている職員もいて、現場は人手不足、ガソリンも無かったので、カッパを着て自転車で「自分はいったい何をやっているんだろう」と泣きながら通勤した。
- ・原発事故が起きたこともすぐには分からなかった。幼稚園の先生から「外出はダメ」と言われた。
- ・買出しに祖母と並んでいると、外国の報道陣から「危ないのにどうして外にいるのか？」と言われた。
- ・北海道の友人は、様々な情報を与えてくれ、避難を強く勧められたが、「自分一人で3人の子どもを育てられるのだろうか」と悩み、決断できなかった。避難については、今でも毎日のように考えている。
- ・従兄弟の中学生の子どもに「甲状腺がん」が見つかり、ショックだ。
- ・避難し転校して「福島だから」と差別され、戻ってきた家族もいる。本当に悲しいことだ。
- ・Kさんと同じく、「この国は国民を守ってくれないんだ」と実感している。**(Sさん：郡山市)**

- ・地震が起きた時は、その揺れが激しく長かった、スーパーにいたが、駐車場に停めてある車が波打っていた。道路標識が揺れていて「自分は死ぬ」と思った。原発事故の報道は見たが、何がどうなっているのか、どうしたらいいのか、わからなかった。が絶望した。
- ・実家が専業農家で、井戸水と薪で風呂を沸かすという昔ながらの生活だったので、地震が起きたからと言って生活は、何も変わらなかったし、山水と米がストックされていたので、子ども達とひたすら実家に閉じこもっていた。自宅周辺は、比較的線量が低い所で、農家も多い地域なので、避難する人がほとんどいなかった。自分達家族も子どもの転校や転職は考えられなかったので、「長期の休みに県外に連れ出そう」と考えた。
- ・周囲に理解者がいなく今でもこっそり保養に来ているが、保養先で同じ様に悩み考えているお母さんとのつながりができ、とても救われている。正しい情報が出されない等、「この国は、国民を守ってくれない」と実感している。**(Kさん：福島市)**

◆お母さんのお話を聞いた感想 <代表：高橋 裕子>

- ・SさんもKさんも、何回も「守る家」を利用されているご家族ですが、このように改めてお話をお聞きしたのは、初めてでした。貴重なお話を聞くことができました。

(日の設定が悪かったのか、サポーターの参加者がいなかったのが、残念でした)

- ・避難したくてもできないそれぞれの家族の事情があることを改めて知らされました。そして全国各地の保養先を探し、子どもを連れ出すお母さんのパワーと「子どもを守りたい」思いを、これからも受け止めながら、フクシマの親子と共に歩んで行こうと思いました。

* 8月10日(日) 油戸で海水浴の予定が台風のためスパー(プール)に変更 *

お母さんやサポーターと思いきり遊んだ子ども達でした！

「守る家」利用家族(3)、鶴岡市に長期避難家族(2)、鶴岡市民の親子(1)、サポーター9名、子ども達全部で15名の参加でした。

そして夜は、谷定ハウスで「カレー夕食会」。プールには参加できなかったサポーターも夕食会に参加し、にぎやかに皆で夕食を食べ、交流しました。(子ども16名、大人17名)

* 今後の予定 *

- 8月22日(金)：夏休みの「一時疎開と保養」終了(最後の家族が福島に帰る)
- 9月3日(水)：19時～サポーター会議 上畑ハウス(上畑町4-40)
夏休みの反省、その他
- 9月13日(土)：19時～夏休みの保養支援打ち上げ 上畑ハウスにて
※サポーター皆様、万障お繰り合わせの上、お集まりください。

サポーターの皆さま、市民の皆さまのお力添えにより、フクシマの親子に楽しい保養生活、楽しい夏休みの思い出をプレゼントできました。
ご協力、ありがとうございました！